2020 年度活動計画

２０２０年６月 25 日

特定非営利活動法人　イカオ･アコ

目　次

１　2020 年度活動計画
２　2020 年度予算案
３　2020 年度役員案

１．2020 年度活動計画

① スタディツアー事業とフェアトレード事業

コロナ禍により、スタディツアーを延期し、それに伴うフェアトレード事業も縮小する。

② 日本 NGO 連携無償資金協力

2020 年度より「農家の生計向上を目指す高品質イチゴの観光農園の普及事業」をシライ市パタグ村で実施する。

③ イオン環境財団

イオン環境財団の助成事業で、「フィリピン・ネグロス島でのマングローブの植林と環境教育（第 1 年次）」を実施する。

④ 安全な水の供給プロジェクト

ボホールにて地域・学校に雨水を貯留・浄水して提供するプロジェクトを進める。

⑤ 企業連携

5.1 ニチバン株式会社

ニチバン株式会社と共同で行っている「ニチバン巻心 ECO プロジェクト」を本年度も継続しているが、具体的な植林の実施が危ぶまれる。前年度に実施した社内研修の現地受け入れも実施できず、延期となる。

5.2 リコー株式会社

以前、共同で実施した植林活動が縁でマングローブ植林の寄付をいただいた。具体的な実施計画が立てられない状況にある。

⑥ インターン・ボランティア受け入れ

今年度は、国内・現地共、日本人のインターンとボランティアを受け入れることが極めて困難である。オンライン・スタディツアー等の代替手段を追求する。

⑦ 植林計画

フィリピンで集団の活動を開催することが難しい。植林活動の停滞が予測される。パガパット祭りを今年度、中止とする。

⑨ 国内活動

－雇用した事務職 1 名を研修、OJT 等で、事務局体制を充実させる。

－引き続き、Panasonic と名古屋 NGO センターの支援を受けて、組織基盤の強化を行う。国内体制の強化、収入構造の多様化など、解決できなかった課題に挑戦できる環境と文化を構築する（創業者の経営から共有によるマネジメントへ）。

2019年度実績と2020年度計画（中期ビジョン2022の達成のために）

事業名	植林事業	有機農業事業	安全な水供給事業	ソーシャルビジネス事業	国内活動	組織運営
2019年度実績	・マングローブ・上流部併せて54,740本、参加者は2,313人、23年間累計で170万本の植樹 ・バラリン・ボカナにエコパーク運営継続 ・バラリンの住民団体の自立に向けて支援 ・企業がイカオ・アコの支援を受けてフィリピンにて研修を実施	・パホで堆肥の製造・販売 ・有機肥料・ブロッコリー栽培専門家の派遣 ・イチゴの栽培のための提案書作成（N連） ・ボホールに大規模液肥施設の建設終了（JICA）	・ネグロス島で1か所（学校と地域）、ボホール島で2か所（学校と地域）で安全な水を届けることができた ・それぞれ水の収集方法が異なる	・カフェ経営経験7年間 ・フェアトレード13年間 ・ゲストハウス「イロンゴ」の運営1年目 ・国際協力研修センター運営8年間 ・自前の研修センターの建物の建設のため、土地を取得	・桜丘高校で特別授業 ・各種研修に参加しネットワーク構築 ・中期ビジョンの作成	・国内の組織基盤整備に取り組む ・会員管理ソフトを導入 ・会費徴収システムの構築 ・人事制度・就業規則の整備
中期ビジョン2022	**植林参加の目的を多様化する**	**「有機農業で稼ぐ！」モデルを作る**	**安全な水を地域・学校に届ける**	**ソーシャルビジネスを独立採算制にする**	**・SDGsへの取り組みが多くの人々に知られる** **・参加型イベントが定期的に行われる**	**・働きやすい職場環境が整い、リスクマネージメントができる** **・効果的な会員制度が完成**
重点活動（2020～23年）	・植林事業の見える化に取り組む。（植林本数・映像・画像・ツールなど） ・エコパークを活用したエコツーリズムの確立 ・植林ビジネスの展開（記念植樹・マングローブウェディング・オーナー制度） ・パガパットフェスティバルなどの植林イベントを開催	・完熟堆肥の生産・販売 ・専門家現地派遣 ・完熟堆肥を使った栽培技術の研修の実施 ・現地スタッフの本邦研修 ・宣伝・研修/生産の機能を持つデモファームを運営	・モデル地区に利水設備を設置しモニタリングを実施 ・省エネルギー・省資源の利水技術をマスター ・システム上不備な点を改善し、次プロジェクトに活用	・ビジネスの専門家の派遣 ・ビジネスパートナー（現地スタッフ）の雇用 ・カフェの移転（研修センターと相乗効果）	・定期的に会員同士が交流できる場の設置 ・国内での活動拠点を持ち、そこで参加型イベントを企画・運営 ・広報に関して①SNSの強化②HPの改訂③ファクトブックの作成 ・PRに使えるおしゃれなフェアトレードグッズを開発し、国内で販売	・会員制度の構築（既存の個人情報の利用、効果的な会員特典、中高生向けの会員制度、入金確認がスムーズにできる管理システムの導入など） ・人事制度・就労規則・研修制度などの整備 ・国内インターン・ボランティア・プロボノの受け入れ ・総会・理事会の定期開催
2020年度計画	・コロナ禍より、植林参加者（日本人、フィリピン人）を見込めない状況 ・アストモスの植林事業が休止 ・新たにリコーの寄付を得ることができる ・8月に毎年行っているPagadpat祭りを中止 ・スタディツアーなどの中止（オンライン・スタディツアーの企画）	・完熟堆肥を月に500キロ生産・販売 ・1,000平米で月20,000ペソの売り上げるモデルファームの計画 ・イチゴの生産性を日本水準の半分達成（1ｔ/10a）	・ボホール島の2か所で安全な水供給プロジェクトを実施する ・安全な水供給プロジェクトのマニュアルをまとめる	・コロナ禍により、フィリピン側のソーシャルビジネスを休止 ・AdwordsによるSEO対策	・国内NPO２つと連携強化 ・会員同士の顔を合わせるイベントを計画・実施	・引き続き組織基盤の整備 ・総会・理事会を定期的に開催 ・有料サポータ数の増加策検討

2. 2020 年度予算案

単位:円

科目	予算額	備考
（資金収支の部）		
Ⅰ経常収入の部		
1会費・入会金収入	50,000	
1）入会金収入	0	
2）正会員会費収入	50,000	
3）賛助会員会費収入	0	
2事業収入	30,000	
1）フェアトレード事業	30,000	
2）ロゴグッズ販売事業	0	
3）その他	0	
	0	
3補助金等収入	30,000,000	
1）民間補助金収入	10,000,000	三井物産、積水ハウス、イオン
2）受託収入	20,000,000	外務省
4寄付金収入	2,000,000	
1）寄付金収入	2,000,000	ニチバン、リコー、個人など
2）募金収入	0	
5雑収入	0	
1）受取利息	0	
2）雑収入	0	
経常収入合計	32,080,000	
Ⅱ経常支出の部		
1事業費	15,030,000	
1）フェアトレード事業	30,000	
2）ロゴグッズ販売事業	0	
3）その他	15,000,000	
	0	
2管理費	10,750,000	
1）役員報酬	0	
2）給料手当	4,000,000	
3）臨時雇賃金	1,000,000	現地労働者の雇用
4）福利厚生費	500,000	
5）会議費	100,000	現地での講習会開催など
6）旅費交通費	500,000	国内出張費
7）通信運搬費	300,000	海外宅配便、国内送付料
8）消耗什器備品費	1,000,000	
9）消耗品費	1,000,000	
10）印刷製本費	50,000	バナーなど印刷
11）光熱水料	150,000	現地の事務所
12）賃借料	500,000	事務所、車やボートのレンタル
13）車両関係費	200,000	現地用車両
14）諸謝金	300,000	
15）租税公課	150,000	
16）雑費	1,000,000	
3予備費	0	
1）予備費	0	
経常支出合計	25,780,000	
経常収支差額	6,300,000	
Ⅲその他資金収入の部		
1固定資産売却収入	0	
1）什器備品売却収入	0	
2繰入金収入	0	
1）繰入金収入	0	
3借入金収入	0	
1）長期借入金収入	0	
その他資金収入合計	0	
Ⅳその他資金支出の部		
1固定資産取得支出	0	
1）車両運搬具購入支出	0	
2）電話加入権購入支出	0	
2借入金返済支出	0	
1）長期借入金返済支出	0	
その他資金支出合計	0	
当期収支差額	6,300,000	
前期繰越収支差額	15,369,651	
次期繰越収支差額	21,669,651	
（正味財産増減の部）		
Ⅴ正味財産増加の部		
1資産増加額	6,300,000	
1）当期収支差額	6,300,000	
2）車両運搬具購入額		
3）電話加入権購入額		
2負債減少額	0	
1）長期借入金返済額		
Ⅵ正味財産減少の部		
1資産減少額	0	
1）什器備品売却額		
2）車両運搬具減価償却額		
3）什器備品減価償却額		
2負債増加額	0	
1）長期借入金増加額	0	
当期正味財産増加額	6,300,000	
前期繰越正味財産額	15,369,651	
当期正味財産合計	21,669,651	

4. 2020 年度役員案

2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日

役　名	氏　名
理事	後藤順久
理事	鈴村正典
理事	平松元夫
理事	倉田麻里
理事	二角智美
監事	石川晃子